

みんなで聞こう、考えよう「**労山運動の理念**」

4月4日(日)8:30～ 受講料無料。

愛知県勤労者山岳連盟の第53期登山学校は2021年4月4日(日)からスタートします。

昨年はコロナ禍で、40年以上にわたって続いて来た登山学校も中止しなければなりませんでしたが、今年は、例年通り開講しようと準備が進められています。

原則として県連事務所における対面式の理論講座と、山での実技という開講形式は変わりませんが、今年から、勤務や家庭の制約で、なかなか県連事務所の理論講座に出席が難しい、でも受講したい、という会員については、オンライン形式でも受講できるように、ハイブリッド形式での開講をおこないます。

それにもなって、今回、登山学校初日の第一回の理論講座「**労山運動の理念**」を下記の要領で受講生以外の会員のみなさんにも無料で公開します。

よく「**労山運動の理念**」という言葉が使われていますが、それが一体何で、どういうものなのか、については、一向に定義も説明もされていません。この講座は、何故、山に登るのか？ 私たちの所属する「**労山**」とは何か？ といった基本的な問題から、事故防止、自然を守る活動などを含めて、今、私たちが山岳会でやっていることはいったい何に基づいているのか（それこそ「**理念**」ですが）、を学ぶ講座です。ずっと、登山学校では第一回の講義で行われてきたテーマですが、コロナで活動が停滞し、中断を余儀なくされた今ほど、原点の「**労山運動の理念**」をきちんと押さえ直すことが大切になってきているときはありません。この機会に、ぜひ、多くの仲間聞いていただけることを期待します。

愛知県勤労者山岳連盟 第53期登山学校講座「**労山運動の理念**」

- ▲ と き : 2021年4月4日(日) 8:30～(3時間半を予定)
- ▲ と ころ : 愛知県連事務所、もしくはオンライン(人数限定)で
- ▲ 受講申込: 愛知県勤労者山岳連盟 登山学校事務局 tozangakko@gmail.com
折り返し、当日の参加アドレス・パスワード等 案内を送ります。
- ▲ 受講料 : 無料
午後からの「登山の計画から下山まで一計画書の書き方、装備と食料の実際」は有料(午後も受講したい方はその旨を明記。別の受講先を送ります)

※ 講師は、半田ファミリー山の会の代表・洞井孝雄さん。

「こんなことは知らなくても山に登れる、けれども**労山**の会員なら知っておいて欲しい、考えて欲しいこと」という前置きで、県連の活動を実践しながら、ずっと「**労山運動の理念**」の講義を担当してきました。会員数の減少や清掃登山など、今、愛知県連が直面している問題や知らなかった話が聞けるかも。ポスト・コロナの登山団体の方向などについて考えるヒントにもなりそうです。

愛知県勤労者山岳連盟第53期登山学校 2021年4月4日から開講

愛知県勤労者山岳連盟第52期登山学校を、下記の2コースで開校します。

マウンテナリング・コースは、山を歩くための生活・行動技術、パーティーとしての基本的な行動や考え方を学び、安全な登山の総合的な力量を身につけます。

クライミング・コースは、登攀具の初歩的な使い方から岩登りの技術、安全についての理解と認識を高めていきます。

登山の基本的な知識・技術を体系的に学び、「連れていってもらおう」登山者ではなく、総合力を身につけた自立した登山者になることをめざします。多くの仲間の受講を呼びかけます。

1 定員 マウンテナリング・コース、クライミング・コース ともに15名

2 応募資格、申し込み方法

資格は特に限定しませんが、学ぶ意欲、体調管理ができること、きちんと歩く力があること。

(実技の前に課題を配布しますので、ロープワークなどは予習のこと)。

労山基金に10口加入していること。(安全対策基金を活用し、開催されています)

入校申込書兼推薦書に必要事項を記入し、下記まで申し込んでください。

(必ず所属山岳会の会長が推薦状を記載し、県連へメールで申し込んで下さい)

【申し込み先】 愛知県勤労者山岳連盟 登山学校事務局 tozangakko@gmail.com

3 受講料 各コースとも33,000円(机上講習、実技講習代、テキスト代を含む。実技講習にかかる交通費、装備等は各自別途実費負担) ※クライミング装備をそろえるのにお金がかかります。理論講座を受講してから購入するようにしてください。あわてて買ってしまわないこと。

4 カリキュラム *基本的に、遅刻、欠席は認めません。 *宿泊を伴う実技等の開催は、状況に応じ対応
【理論講座(マウンテナリング、クライミング共通)】

開講日	テーマ ()内は講師	講習内容
2021年 4月4日(日) 8:30~16:30	労山運動の理念 ①登山の動機と意義②組織論/③遭難事の防止/ ④自然保護 登山の計画~下山まで ① 計画書の意味/装備と食糧 (洞井)	開校式を兼ねています。何気なく山に登っている自分をまず見つめてみましょう。登山者として必要な「山に入る姿勢」と「なぜ山に登るか?」を考えます。 また計画書の重要性を通して、自分が所属している山岳会の意味や登山の危険と安全、その防止のための登山の基礎的な知識やルールなど登山の基本について考えます。
4月5日(月)	岩登りの基礎I (森)	岩登りに関する考え方、具体的・基礎的な知識、用具の解説、ロープワークについて学びます。
4月12日(月)	岩登りの基礎II (岩田)	岩の登り方・確保の方法についての注意点など、クライミングにおける技術とルール、その実際を理解します。
4月19日(月)	登山の計画~下山まで ② 生活・行動技術(洞井)	山での生活の基本、行動上の注意点、歩き方や危険箇所の判断・通過の仕方などについて学習します。
4月26日(月)	パーティー論・リーダー論 (洞井)	パーティーが安全に登り、確実に下山できるようにリーダーやメンバーが果たすべき役割と責任は?

5月10日(月)	地図の読み方・使い方 (板倉)	地図の実践的な使い方、読み方を学ぶとともに、計画書作成に不可欠な概念図の書き方について学習します。
5月17日(月)	気象Ⅰ (相澤)	天気図と山の天気の基本を学びます。天気予報だけではわからない、気象のあれこれが見えてきます。
5月24日(月)	気象Ⅱ (相澤)	天気図が書けるだけでなく読めることが必要です。天候の予測、次の行動の判断ができるようになるかな？
5月31日(月)	沢登りの基礎 (岩田)	岩登り、生活・行動技術など総合的な力を要求される沢登り。その装備や技術について学びます。
6月7日(月)	確保技術講習会(机上) ※県連遭対部行事(三宅)	岩登りや沢登りに不可欠な確保技術。正確な知識と安全な確保とはどのようなものか、を学びます。
6月14日(月)	無雪期救助訓練(机上) ※県連遭対部行事(清水)	県連の救助訓練に参加します。山行中に起きた事故を想定した救助の基礎的で実践的な知識と技術を学びます。
6月26日(土)	救急救命法 ※県連遭対部行事(森)	ファーストエイド。山行中のアクシデントや疾病に対処できる実践的な知識・技術を学びます。
6月21日(月)	体力・トレーニング論 (野村)	登山に必要な体力づくりを効果的におこなう方法を学びます。日常的に実践できるようになりましょう。
6月28日(月)	登山の危険と安全対策 (森)	山では危険のあることを知り、安全な登山をしていくことは登山者の責任。事故事例を検証し、他に学ぶことで、どうしたら安全な登山ができるかを考えます。

【実技】 M：マウンテニアリングコース、 C：クライミングコース、 MC：両コース共通

実施日程	区分	山域(予定)	備考
4月17-18日(日)	MC	南山(豊田)ゲレンデ	テント泊。基本の「き」を学ぶ
4月25日(日)	C M	南山(豊田)ゲレンデ 鈴鹿・烏帽子岳(予定)	いよいよ、岩場で実践 山歩きのおもしろさを実感
5月16日(日)	C	鈴鹿・藤内壁	岩登りの基本を反復しながら確認
5月22-23日(土・日)	M	鈴鹿南部(未定)	幕営・生活技術を習得する
5月30日(日)	C	鈴鹿・藤内壁	岩登りの基本を反復しながら確認
6月13日(日)	C	鈴鹿・藤内壁	岩登りの基本に習熟する
6月20日(日)	MC	比良(予定)	確保技術講習会実技 ※県連遭対部行事
6月27日(日)	MC	鈴鹿・藤内壁周辺	救助訓練 ※県連遭対部行事
7月3-4日(土・日)	MC	鈴鹿周辺(予定)	1日目読図、2日目沢登り
8月22日(日)	C M	鈴鹿・藤内壁 中央ア・烏帽子岳	研修山行を見据えた実技
8月28-29日(土・日)	M	八ヶ岳	研修山行 ※8月23日(月)打合わせ
9月4-5日(土・日)	C	八ヶ岳・阿弥陀南稜～小同心・中山尾根(予定)	研修山行 ※8月23日(月)打合わせ

登山学校の理論講座は、労山会員なら誰でも受講可能です。(一講座 500円)

「学びたい!」と思う講座をチョイスして聞くことができます。この機会を有効に使いましょう! 有料ですが、なかなか普段、会では学べない内容の講座をラインナップしています。

講座当日、19時半までに県連事務所へどうぞ! 県連登山学校のテキストも、希望者には頒布(1000円)しています。当日の講師の補足資料(受講者に配布)とあわせて利用してください。